

図書館だより

No.2 平成28年6月
桐生第一高校図書館発行



衣替えの6月、梅雨の季節になりました。
梅雨に入ると雨の日が続き、室内で過ごす時間が多くなりますね。
雨の音を聞きながらゆっくり読書をしてみてはいかがでしょうか。



6月19日は桜桃忌（太宰治の命日）

明治42年、津軽の大地主の家に生まれた太宰治。『走れメロス』『斜陽』『人間失格』など数々の名作を生み出しました。しかし、精神不安定から自殺未遂を繰り返し、昭和23年に玉川上水に入水自殺。38歳の生涯を閉じました。

命日の6月19日は、晩年の作品にちなみ「桜桃忌」とよばれています。

太宰治の作品の冒頭を紹介します！

◎ 『人間失格』

「聡の多い生涯を送ってきました。自分には、人間の生活というものが、見当つかないのです」

◎ 『走れメロス』

「メロスは激怒した。必ず、かの邪智暴虐の王を除かなければならぬと決意した。」

◎ 『桜桃』

「子供より親が大事、と思いたい。子供のために、などと古風な道学者みたいな事を殊勝らしく考えてみても、何、子供よりも、その親のほうが弱いのだ。」

◎ 『斜陽』

「朝、食堂でスープを一さじ、すっと吸ってお母さまが、「あ」と幽かすかな叫び声をお挙げになった。」



～こんなところにも太宰治～

小説『文豪ストレイドッグス』朝霧カフカ//著 KADOKAWA

異能力を持った文豪たちが戦うという斬新な設定。原作はマンガです。

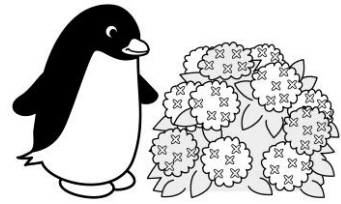
太宰治の能力は、直接触れたありとあらゆる異能を無効化する「人間失格」。

そのほかにも中島敦や江戸川乱歩、与謝野晶子、国木田独步、宮澤賢治などさまざまな文豪が登場します。

開館時間・・・月～金曜日 9:00～17:30

貸出冊数・・・5冊まで

貸出期間・・・14日間



『和菓子のアン』の続編ができました！

Fサカ 『アンと青春』 坂木司 // 著 光文社



ある日、アンちゃんの手元に謎めいた和菓子が残された。

これは、何を意味するんだろうー。

美人で頼りがいのある椿店長。「乙女」なイケメン立花さん。元ヤン人妻大学生の桜井さん。

そして、食べるの大好きアンちゃん。『みつ屋』のみんなに、また会える。

ベストセラー『和菓子のアン』の続編。 (「BOOK」データベースより)

坂木さんの作品 こちらもオススメ！

Fサカ 『シンデレラ・ティース』 坂木司 // 著 光文社



大学二年の夏、サキは母親の計略に引っかかり、大っ嫌いな歯医者で受付のアルバイトをすることになってしまう。個性豊かで、患者に対し優しく接するクリニックのスタッフに次第にとけ込んでいくサキだったが、

クリニックに持ち込まれるのは、虫歯だけではなく、患者さんの心に隠された大事な秘密もあって…。サキの忘れられない夏が始まった。 (「BOOK」データベースより)

6月16日は「和菓子の日」

和菓子の小説や和菓子作りの本をご紹介します。

見ていると食べたくなります！



Fサカ 『和菓子のアン』 坂木司 // 著 光文社

BF二ト 『お待ちしてます下町和菓子栗丸堂』 似鳥航一 // 著 KADOKAWA

BFサカ 『和菓子のアンソロジー』 坂木司[ほか] // 著 光文社

596.6 ア 『図説 和菓子の今昔』 青木直己 // 著 淡交社

596.6 ノ 『ひとくち和菓子』 のむらゆかり // 著 日東書院

596.8 『お茶と和菓子のテーブルセッティング』 浜裕子 // 著 誠文堂新光社